

平成 17 年 11 月 8 日

各 位

会社名 カラカミ観光株式会社
 代表者名 代表取締役取締役 本間 幸治
 (JASDAQ・コード 9794)
 問合せ先 経営企画室長 及川 真
 電話 (011) 598-3225

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 20 日の決算発表日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 20 日発表)	11,600	750	160
今回修正予想 (B)	11,445	585	427
増減額 (B - A)	155	165	267
増減率	1.3%	22.0%	166.9%
前期 (平成 17 年 3 月中間期) 実績	11,460	455	246

2. 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 20 日発表)	11,200	600	220
今回修正予想 (B)	10,700	427	286
増減額 (B - A)	500	173	66
増減率	4.5%	28.8%	30.0%
前期 (平成 17 年 3 月中間期) 実績	11,230	387	206

3. 修正の理由

(1) 平成 18 年 3 月中間期の連結業績は、売上高は 11,445 百万円 (前年同期比 0.1% 減) となり見込額を 155 百万円 (1.3% 減) 下回りました。売上については本年 8 月より当社チェーンの傘下に入りましたホテル古賀の井、コガノイベイホテル 2 館のほか本州地区が概ね好調に推移しましたが、北海道で苦戦しました。

収益の面では、新規の 2 館の収益が寄与したこと、消耗品、外注費をはじめ広範囲に支出削減を行ったこと等の結果、経常利益は全年同期を 130 百万円上回り 585 百万円 (同 28.6% 増) となりました。しかしながら見込額対比では原油価格が予測を超えて高騰した分が利益を大きく圧迫し、165 百万円減 (22.0% 減) となっています。当期純利益につきましては、427 百万円 (同 73.6% 増) となり見込額比 267 百万円増を計上することができました。

(2) 通期の連結および単独の業績予想につきましては、中間決算発表時に開示いたします。

以上